

派遣報告書

平成 27 年 5 月 18 日

倉吉市議会議長様

倉吉市議会
(代表) 議員

坂井 繁文



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

1 派遣期間 平成 27 年 5 月 11 日 (月) から平成 27 年 5 月 12 日 (火) まで

2 派遣先 隠岐島 海江町

3 視察(調査)議員名 坂井 繁文

4 面会者 隠岐國学習セミナー主催者、海江町義務講師

5 派遣目的 教育行政と地方創生の参訪回数、吉元課長

6 視察の経過及び感想

別紙の通り。

7 添付書類

(1) _____

(2) _____

要した経費： / 人合計 28,180 円

1. 海江 陰岐鳥井高校を視察し。

(目的) 入学者増と課題についての鳥井高校における取り組みと研究内容。

生徒数の減少で実校の児童における鳥井高校再建が叶

海江田山内氏のリーダーシップのもと行政改革の目玉として教改を掲げ
 「陰岐鳥井高校魅力向上計画」を打ち上げ「生徒一人ひとりの夢の実現」
 「地域の未来とつなぐ人材の育成」「持続可能な魅力ある学校の構造」と
 教育目標と共に実行された。

その結果、

(1) 自分の持つ元氣を新しい江戸と街に帰す という地城起業家的精神を身に着けた者を育成し、生徒たちが実際のまちづくりや商品開発を行ふ。地城社会で活躍するための総合的な人間力を付けるカリキュラムの創設を通じて、下月2日 地元住民と高校生と一緒に地城課題の解決、探究を繰り返す「地城学」講座を実践している ⇒ 倉敷市鳥取町、看護大との交流を図り 又地元商店と連携した活動を企画実行していくが、次へは新規コースでオリジナル商品開発とレゴブロックによる全国発信していくとか。

(2) 鳥井高校以外からの学生三年生に力を入れている。

最初は学校PRの名 大都市圏へ向う(私の数名と予算にはPR活動を展開して互換 行政のエニ-ワタ町づくりが全国的に注目されることが 次第に入学者の登録をひく高校へと並んでいくと思われる。

鳥井高校は「刺激や意欲をもつ」、「多様な個性の生徒」、「新しい人間像を持つ者」などから異文化や

多样性を取り込みた元生徒への刺激と高校の活性化を図るに2月2日
成功した。⇒ 会計科 高中姉妹高校との交流の場を設け
実行委員会はどこでいつ。

(1) 海研は鳥取高校生徒の学力アップの為に公掌の学習セミナーを設け
し授業学年、進学共、多大の効果を上げ學外学生の呼び込みも上級
選択。週6回(1日19時~22時)の2.5Hの補修と
実践的夏季講習等を3日6~7H実施。生徒の評価は
月額1,2万円で支給の補助金が充当される。
⇒ 会計科の特色コース充実のY12月ニから1月以降開催
でよいのか。

(2) 上記学習セミナーでは毎回1回「夢ゼミ」を実施。
これは生徒が自分の夢や将来に向けた発表やディスカッションを通じ、夢12
近くの自分はどう伸びるかを考察せ、何より自己理解の度を高めさせ鳥内の
大人や鳥外の著名人を講師として迎え実施している。
⇒ 会計科がすぐ実行可能ではないか。

様々な取り組みの基軸はあらゆる常に目的意識をやめかず
技術と技術伝承の課題と共に解決し、他の課題を
解決する内に世界の課題を解決していくに付けて、この高邁な
思想に基づいて、薦め次第。

2. 民方の創立と再 1=2022/5/2-2022/7/17。 3/3

海江町では「民、政、企、社連 創立會議」が立ち上げ

民間人 11人 + 行政 8人 = 合計 19人で編成された。

民間人の公募の条件は 築125年以上の既存組織、49歳以下で土日の会議全2回出席可能な人を条件とし 行政予定若手の方(役員者や50才以上では見合わない)・創立の取組が実績ある方(既存会員数10名以上で活動が継続する方)

↓

計画を作り人間が最後まで責任を持って実行するに重要です

他人の意見を別の人間や年代別で実行に心を入れるから

…やがんに相手、障害にぶつかると躊躇が先に立つ他人の意見を聞くから

と出来ない理由や方法を理解する事で、ISGに入ることある。

会員市の年次会合にて 第一行政基本法(草案)を採り、次に

各種団体や、この会議組織等にて構成される議論会等にて討議

意見交換会との形式で若干の修正を加え 計画策定とす。

参考のためと実行のため年代別 年齢別 ISG入りの計画
とあります。

↓

総じて年少の方より 計画策定は当2月 市初のスタート時から民間と行政が同一の場で意見交換するに重要です。 民間・行政共に
計画の進行と最終意見交換会を中心として立案者と実行者が
万能(同一)であることが重要性を大いに意識する必要がある事に
気付く。